



大和市の10年後のミライを考える

# やまと市民討議会

開催結果概要

## やまと市民討議会

## 将来の大和市を語ろうを開催しました！

次期総合計画の策定に向けて大和市の「10年後のミライ」はどんなまちになっているとよいか、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、平成29年11月12日(日)に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民3,000名に案内を送付しました。

当日はそのうち申し込みをいただいた35名の方と市内高等学校6校から生徒12名が参加しました。



市民討議会の様子

## 午前のグループワークのまとめ

私のまちの好きなおところ、  
自慢したいところを出し合おう

- ・ 駅との距離、鉄道、自転車、自動車など交通の便が良い
- ・ お店が多く買い物が便利
- ・ 自然豊かで公園やみどりが多い
- ・ シリウスが良い
- ・ セミナーやイベントが多く、ボランティアがしやすい
- ・ ごみが出しやすく、きれいなまち
- ・ 自治体経営がうまく、職員の対応が良い
- ・ 有名人がたくさんいる など

私のまちの気になるところ、  
なおしたいところを出し合おう

- ・ 知名度が低い、歴史が少ない
- ・ 夜暗く、治安が悪い場所がある
- ・ 飛行機の騒音がうるさい
- ・ 車や自転車のマナーが悪く、道路も狭くて危険な箇所がある
- ・ 市外の人向けのイベントが少ない
- ・ ごみの分別が不便
- ・ 自治会に若い人の参加が少ない
- ・ 若い人が集まる場所や子どもの遊び場が少ない など

将来(10年後)私たちのまちを  
どう良くしていきたいか出し合おう

- ・ 保育や補助金など、子育てしやすいまちになるとよい
- ・ 遊歩道の整備で歩きやすい環境をつくり、多様な世代で健康増進ができるとよい
- ・ 暗い道に街路灯を設置して、安心、安全なまちになるとよい
- ・ コミュニティバスの巡回を工夫して市内での移動がしやすくなるとよい
- ・ 公園やサッカー場など、若い人や子どもが楽しめるまちになるとよい など

# 午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

## 表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

## テーマ① 10年後の健康増進・妊娠・出産・子育て

1グループ	妊婦さんへのサポートを充実させることが大切 子育て教育の充実が必要	子育て前の教育・サポートのしかけとして、義務教育で、子育て・家事練習を必修化しよう	2グループ	子育て世代が働きやすいようなサポートが必要	子育てに関する「生」の情報をやりとりできるシステムをつくり、子育て中の方が現在困っていることに対して、先輩のママの経験談を情報として提供できるようにしよう
	出会いの場がない	イベントなどを市が企画し、市から個別に案内を送ることで、パートナーや友達を見つける機会づくりをしよう		お年寄りが活躍できる場所が必要 定年後の生きがいづくりが必要 児童館の充実	児童館について、お年寄りが遊びを教えたり、定年後の方が活躍できる場所にしていこう
	不妊治療へのサポートが少ない	不妊治療の実態をデータで示し、FB・ツイッターなども活用し、学生・全世帯に発信して世論を高めよう		妊婦さんに優しいスペース	「シリウス」などで子育て世代の方々がおしゃべりできる場をつくり、気軽に困っていることを話したりできるようにしよう
	若年層の収入が低い 子育て層への経済的サポートが薄い、限定的	若年層の収入が上がるように、①若いうちに結婚したら支援金を出す、②空き家を整備して提供、③職業資格をとる支援を充実させよう			

## テーマ② 10年後の防犯・防災・まちづくり

3グループ	「世代が違う」人たちと交流できる場所と機会をもっと増やしたい	高校生が企画する「やまと市学園祭」をやろう	4グループ	いろんな世代が参加できる行事イベントがない	地域のつながりをつくるために世代をこえて楽しめる大和市全体のイベントをつくろう (やまと歴史カルタをつくり全市で大会、まちじゅうガレージセール、駅ごとに巡回定期フリマなど)
	人が集まる、まちを歩く、まちづくりのしかけを工夫したい	既存の魅力ある自然や歴史と食を組み合わせ、外国人、コアなファン、高齢者+若者などの来街者が来なくなるPRをしよう		地域のつながりを増やしたい	
	観光・歴史・まちの魅力づくりが必要			防災意識が薄い 避難場所がわからない	地域のつながりづくり+防災・防犯意識づくりのため『大和防災・防犯ツアー』を開催しよう
	治安の悪さ・不安を改善したい	市や警察と協力して進めることが大切だが、市民同士のコミュニティを高めることで治安改善につなげよう		子どもの防犯情報がうまく共有されていない 防災放送が聞き取りにくい	子どもの防犯のために、「防犯放送」を子どもの情報も含めたものにして、幼稚園・保育園世代~高齢世代までに役立つようにしよう
	参加しやすい訓練方法を考える	地域・学校・企業が、この日は全員参加で「防災訓練をやる日!」と決めてまずは1回やろう			
	災害後にどこに何があるかがすぐにわかる工夫が必要 防災力格差をいかになくすかが大切	学校、民間企業も帰宅困難者の受け入れで協力しよう			地域のつながりをつくるために、健康ポイントを全ての世代が使えるようにし、地域の防災・防犯活動への参加やイベント参加を楽しく、行ってみたくなるようなものにしよう

## テーマ③ 10年後の読書・文化・スポーツ

5グループ	<p>泉の森をぜひ有効活用したい</p> <p><b>みんな泉の森 LOVE！ 10年後ももっと魅力的に付加価値をつけよう</b>  <small>(民家園の古民家を活用した地元のおいしい食べ物があるレストラン、体験プログラム、instagramで発信できる「ここでしか体験できないもの、風景」づくり)</small></p>	<p>近年有名なスポーツ選手を輩出できていない</p> <p>自然豊かな環境で優れたスポーツ選手（障がい者・健常者を問わず）、アーティストが育つ環境をつくろう</p>	
	<p>10年後も骨董市と阿波踊りを続けよう</p> <p>若者も積極的にイベントに参加しよう</p>	<p>10年後も骨董市や阿波踊りを続けるために、市内の幼稚園に参加要請し、お菓子ももらえるといった工夫で子どものうちから参加を促そう</p>	<p>商店街で阿波踊りや催し物が行われているが、規模や賑わいに物足りなさを感じる</p> <p>年齢を問わず楽しめる新しいイベントを大和市の伝統にしていこう</p>
	<p>ウォーキングのモチベーションをあげる工夫が必要</p> <p>シリウスや駅にウォーキングポイントのスポットを導入すべき</p>	<p>日常的な健康づくり（ウォーキング等）のモチベーションUPのために、成果の見える化、ポイント制でメリットがあるアプリなどの開発をしよう</p>	<p>施設名がローマ字表記になっていて、外国人が読んでも伝わらない表記になっている</p> <p>様々な施設を外国人が使いやすいよう、通訳ボランティアや英語表記を増やそう</p>
		<p>生徒会にしか地域活動の話が回ってこないで、地域に関わる生徒が生徒会の委員のみになっている</p> <p><b>地域活動部を中・高につくり、地域に興味のある生徒を地域活動に巻き込もう</b></p>	

## テーマ④ 10年後の地域活動・地域経済・賑わい

7グループ	<p>世代を超えた交流の機会づくりが必要</p> <p>小さいエリアでの関わりしかない</p> <p>まちや施設のよいところを活かしたい</p> <p>老若男女が楽しめる交流施設が駅周辺にあるとよい</p>	<p><b>駅前の賑わいも含め、誰でも集える集合場所（コミセン）をつくり駅前への交通手段を確保しよう</b></p> <p>異文化交流として日本語の勉強会とワークショップ「歌」「踊り」を積極的に実施しよう</p> <p>基地の理解や外国人の理解を深めるため、教育の一環として学校で、文化を知り合うことができる交流の機会をつくろう</p> <p>SNSを活用して子育てや就職など「経験者」と「未経験者」との世代を越えた交流ができる機会をつくろう</p>	<p>移動手段の支援が必要</p> <p>コミュニティ交通に関する情報発信強化</p> <p>コミュニティ交通を充実させるために、臨時運転、自動運転、病院のバスとの相乗りなどの社会実験を実施しよう</p>
		<p>特色のあるまちにしたい</p> <p>交通の便を活かして、人が集まるイベントを企画しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米軍基地でのイベント</li> <li>・学校と市のコラボイベント</li> <li>・雑木林を活用したイベント</li> </ul>	
		<p>多世代交流の推進が必要</p> <p>身近に集まれる健康づくりの場がほしい</p> <p>公民館（コミセン）で多世代交流を活性化させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が参加して高齢者とコミュニケーション</li> <li>・「できること」メッセージボード</li> <li>・ネット技術を使ったコミュニケーションの活性化</li> </ul>	
		<p>高齢世代の就労やボランティアの機会の多様化</p> <p>労働人口が少なくなることが心配</p> <p>家にいたままでできる地域活動の創出</p> <p><b>シニア人材の登用のために、シルバー人材センターを充実させて市のマッチング機能を強化したり、有償ボランティア仕組みづくりを進めよう</b></p>	

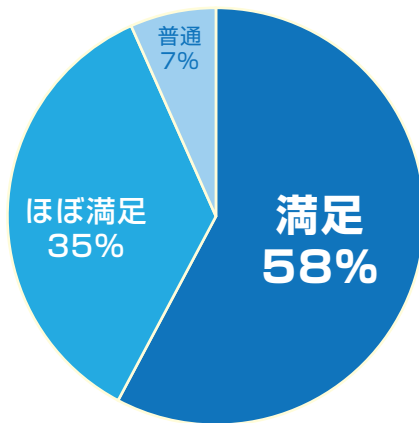


## ④ 当日のプログラム

時間	実施内容	時間	実施内容
9:30	受付開始	13:20	午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
10:00	開会のあいさつ・市民討議会の目的について	13:30	午前中に出された意見を受けて、8グループ(5～6人)に分かれて、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 テーマ①：10年後の「健康増進・妊娠・出産・子育て」 テーマ②：10年後の「防犯・防災・まちづくり」 テーマ③：10年後の「読書・文化・スポーツ」 テーマ④：10年後の「地域活動・地域経済・賑わい」
10:10	10年後の大和市のミライを考えるための情報提供		
10:30	市民討議会の進め方の説明		
10:50	8グループ(5～6人)に分かれて3つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①：私のまちの好きなところ、自慢したいところを出し合おう！ テーマ②：私のまちの気になるところ、なおしたいところを出し合おう！ テーマ③：将来(10年後)私たちのまちをどう良くしていきたいか出し合おう！		
11:50	グループ成果の発表	15:30	グループ成果の発表
12:20	昼食・休憩	15:55	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
		16:15	閉会のあいさつ・アンケート記入

## ④ 参加者の感想

### <市民討議会への満足度>



### <主な感想>

- ・市民討議会は、高齢者層、中年層、若年層、女性、男性が集まる「小さな大和市」の状態になっていた。おかげで、いろんな人たちの意見を知ることができた。
- ・今後の大和がよりよい市になってくれるのを期待できる会になったように思えた。
- ・高校生の意見でも取り入れてくださり、うれしかったです。発表ものびのびできたのがよかったです。
- ・みんなで出し合った意見が1枚の大きな模造紙にまとめられていくのが楽しかった。

## ④ 今後の取り組みについて

今回の市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見として取りまとめ、市の施策展開・検討等の参考としていきます。

URL: <http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211799.html>

## ④ お問い合わせ

大和市 政策部 総合政策課 電話：046-260-5304